

# 更に充実『デジタル教材』(教師用付録)

無料

## New web ツール「確認小テスト」

PCでもタブレットでもスマホでも。  
かんたん操作で重要語句プリントが作成できます！



↑紹介動画

すばやく作成  
確認小テスト

メールアドレス  
saham@shu.co.jp

パスワード  
\*\*\*\*\*

ログイン

初めての方はこちらアカウント作成

Googleでログイン

Microsoftでログイン

お問合わせはこちら 秀学社

クリックまたはタップするだけ！

確認小テスト作成画面

1. 問題を選択してください。

2. 問題の量を選択してください。

3. 条件を選択してください。

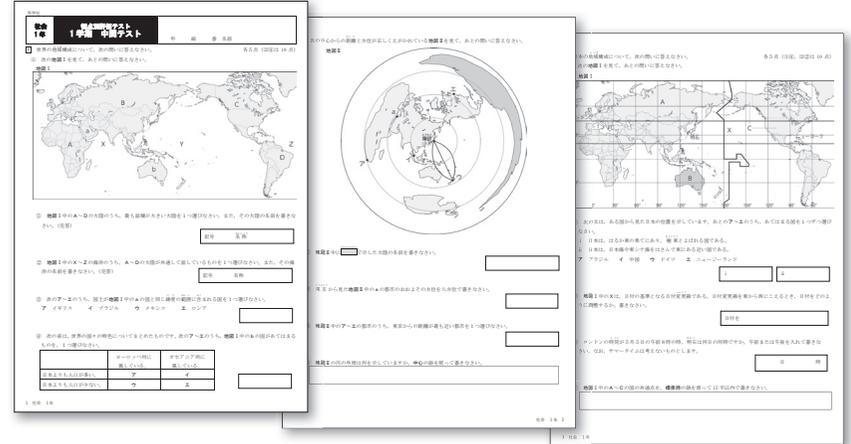
4. タイムアウトを設定してください。

「入試頻出」「ミス注意」などに絞った出題も可能。

年	期	名称
○	空欄からみて、「南の島」という意味の語をもつ、東南アジアの島。	
○	三大洋のうち、最も面積が小さい洋。	
○	六大陸のうち、最も面積が大きい大陸。	
○	六大陸のうち、最も面積が小さい大陸。	
○	ニュージーランド大陸の西側にある州。	
○	オーストラリア大陸が属している州。	
○	アジア州のうち、日本が属している地域。	
○	アジア州のうち、オーストラリアが属している地域。	
○	アジア州のうち、インドが属している地域。	
○	アジア州のうち、インドが属している地域。	
○	地球と海洋の面積の割合。	

## New ダウンロード版「定期テスト作問集」(Word版)

定期テスト・プリント作成に便利な作問集を用意しました！



図版データやテキストをそのまま定期テストに使えます。

収録回数  
地理：6回  
歴史：6回  
公民：3回

取り扱い代理店

- 株式会社 秀学社 <https://www.shugakusha.co.jp/>
- 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5 TEL 06-6695-1331
  - 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井 1-2-16 TEL 03-3389-4614
  - 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院 3-11-14 TEL 092-531-8268
  - 東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵 1-13-18 サッサセンタービル 7F TEL 052-979-7260
  - 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似九条 12-1-1 TEL 011-764-1201

明日の教育を大きくひろく

# 秀学社の社会教材



日本文教出版『中学社会』教科書完全準拠

## 『研究ノート』

内容紹介



先生が授業しやすい、生徒が取り組みやすい、  
授業でも家庭でも使える、新しいワーク！  
そのしくみを紹介します！



# 完全準拠で学びを保障！ 「研究ノート」

社会科が好きになる！主体的に取り組み、深い学びを保障する **学力保障システム**

新しいスタイルのワークとして、先生方から「使って良かった！」の声が届いています！



教科書のねらいに即しているので、**進度が遅れず**授業を進められました。

教科書の内容とワークが**直結**しているので、効率良く知識が定着しました。



付属のワークシートを使って、**主体的・協働的**な授業ができました。



**学習習慣が身に付いた**ことで、生徒が授業に集中するようになりました。



教科書の「**見方・考え方**」に対応して授業がしやすかったです。



「これまでのワークと何が違うの？」「どのように使うの？」そんな先生方の疑問に、監修者の榎原先生がお答えします。

生徒の皆様からも「社会科が好きになった」「学力が向上した」など、ご好評いただいております。

**授業時数の不足が解消されます！**

教科書の内容を全ておさえようとするとう時間は不足します。社会科は知識理解の内容項目も多く、特に時間不足が顕在化します。「研究ノート」は学習指導要領を吟味し、定着すべき優先順位を明確にし、子どもたちが学習内容を確実に定着できるよう問題を精選しました。

教科書が一冊手元にあるだけで**どんどん**解けるし、とても使いやすいです。



**「知識・技能」習得のための時間が削減できます！**

予習として「研究ノート」に取り組むことで、事前に「知識・技能」が習得できます。教科書に完全準拠しているので、教科書の中に解答があります。反転学習することで、授業中での「知識・技能」を習得するための時間が削減できます。



予習するのが簡単で、問題数もちょうどいいので、続けることができました。

**これから求められる「新しい価値を創造する」授業が実現できます！**

「知識・技能」を事前に習得しておくことで、授業で協働的な学びが展開できるようになります。「研究ノート」本誌や教師用付録「A・Lワークシート」を活用することで、蓄えた知識を対話による協働学習を通して、「新しい価値を創造していく力」が身に付くようになります。

# ① 家庭学習で知識を習得

★全ての生徒が取り組みやすい!

- ・教科書完全準拠なので、教科書と同じデザイン・文章・資料を採用しました。
- ・生徒が無理なく取り組めるように、重要語句を精選しました。
- ・自学自習で解答にたどり着けるので、予習としても取り組みます。

実際に教科書誌面と見比べてください。

わかる

QRコードで  
学習事項の確認

予習としても取り組める!  
3ステップ方式

ステップ1 予習 復習

教科書引用文の穴埋め問題

教科書を読み進めながら用語を  
確認します。

ステップ2 予習 復習

資料活用問題

教科書と同一資料を使って要点  
をおさえます。

ステップ3 授業 復習

「思考力・判断力・表現力」問題  
社会的な「見方・考え方」を使っ  
て活用問題に挑戦します。

▼歴史1 (P28.29)

教科書 P.42~43  
日本列島の人々と国家の形成(6)

6 律令国家の成立

- 7~8世紀の日本と東アジアについてまとめよう。
- 7世紀前半、唐が領土を広げていくと、朝鮮半島では政変や戦争が続いた。
  - ヤマト王権では中央集権を進めようと、645年に中大兄皇子と(①)のちの藤原鎌足が(②)氏をたおして政権をにぎった。
    - 難波宮を建設し、新しく天皇中心の役所・役人の組織をつくった。
    - すべての土地と人々を国有にして天皇が支配する(③)の方針が出された。
    - これらの政治の改革を(④)という。
  - 唐・新羅が(⑤)をほろぼすと、中大兄皇子は(⑤)の復興のために朝鮮半島に大軍を送ったが敗れた。
    - 九州北部に兵士の(⑥)をおき、朝鮮式山城や水城をつくった。
  - 中大兄皇子は大津宮で即位して(⑦)天皇となると、国内の整備を進めた。
    - 初めて全国的な(⑧)をつくり、支配を強めた。
  - (⑦)天皇の死後、弟の大海人皇子は(⑨)を起して政権をにぎった。
    - 天武天皇となり、法制をさらに整えて中央集権国家の建設を強力に進めた。
  - 天武天皇の死後は、皇后の持統天皇が事業を引きつぎ、広大な(⑩)が建設された。
  - 701(大宝元)年、唐の律令にならって(⑪)がつくられた。
    - 律令に基づいて政治を行う国家を律令国家という。

2 中央集権に向けた日本の動きについておさえよう。

- (1) 大化の改新の中心となり、のちに即位して天智天皇となった人物はだれですか。
- (2) 公地公民の方針のもと、全国の土地と人々はだれが支配することとされましたか。
- (3) 右の地図中のXで663年に起きた戦いの名前と、外交や防衛の拠点となっていたYの役所の名前を書きなさい。
- (4) 壬申の乱に勝利して即位した天皇を何といいますか。
- (5) 8世紀以降の日本のように、律令に基づいて政治を行う国家を何といいますか。

3 中大兄皇子の政治について考えよう。

- (1) 右の資料は、7世紀半ばの九州北部のようすです。中大兄皇子がつくらせた資料中のXを何といいますか。
- (2) (1)や朝鮮式山城の一つである資料中の大野城は、どのような目的でつくられましたか。上の地図も参考にして説明しなさい。

28 年号 645年 大化の改新が始まる むしご(煮じ)飯で 祝った 大化の改新



★ノートとワークが  
1冊で完結!

ノートの使用例

- ・板書を写すノートとして
- ・左ページ(問題編)の反復練習に
- ・ワークシートの添付スペースに
- ・自由な予習スペースに...

先生のアイデア次第  
で自由自在!

予習として取り組むことで、事前に  
「知識・技能」が習得できます。



# ② 授業で思考力を育成

★先生が授業しやすい!

- ・授業で使える、主体的・対話的に取り組める「A・Lワークシート」が、教師用 デジタル教材に収録。(必要に応じて使えます)
- ・本誌では章末・編末に設定しています。

考え・表現する

すべての単元に対応!

本誌見開きに1ページ対応



▼A・Lワークシート

教科書 P.42~43 日本列島の人々と国家の形成(6)

6 律令国家の成立

7~8世紀の日本と東アジアについてまとめよう。

- 7世紀前半、唐が領土を広げていくと、朝鮮半島では政変や戦争が続いた。
- ヤマト王権では中央集権を進めようとして、645年に中大兄皇子と(1)の(藤原鎌足)が(2)氏をおして政権を握った。
- 難波宮を建設し、新しく天皇中心の役所・役人の組織をつくった。
- すべての土地と人々を国有にして天皇が支配する(3)の方針が出された。

これらの政治の改革を(4)という。

- 唐・新羅が(5)をほぼと、中大兄皇子は(5)の復興のために朝鮮半島に大軍を送ったが敗れた。
- 九州北部に兵士の(6)をおき、朝鮮式山城や水城をつくった。
- 中大兄皇子が天智宮で即位して(7)天皇となる。国内の整備を進めた。
- 初めて全国的な(8)をめぐり、支配を強めた。
- (9)天皇の死後、弟の大海人皇子は(9)をおして政権を握った。
- 天武天皇となり、法則をさらに整えて中央集権国家の建設を強力に進めた。
- 天武天皇の死後は、皇后の持統天皇が事業を引きつぎ、広大な(10)が建設された。
- 701(大宝)年、唐の律令にならって(11)がつけられた。
- 律令に基づいて政治を行う国家を律令国家という。

中央集権に向けた日本の動きについておさえよう。

- 大化の改新の中心となり、のちに即位して天智天皇となった人物はだれですか。
- 公地公民の方針のもと、全国の土地と人々はだれが支配することになりましたか。
- 右の地図中のXで645年に起きた戦いの名前と、外交や防衛の拠点となったYの役所の名前を書きなさい。
- 壬申の乱に勝利して即位した天皇を何といいますか。
- 8世紀以降の日本のように、律令に基づいて政治を行う国家を何といいますか。

中大兄皇子の政治について考えよう。

- 右の資料は、7世紀半ばの九州北部の様子です。中大兄皇子がつくらせた資料中のXを何といいますか。
- (1)や朝鮮式山城の一つである資料中の矢野城は、どのような目的でつくられましたか。上の地図も参考に説明しなさい。

645年 大化の改新が始まる

6 律令国家の成立

【大化の改新】

- 7世紀前半に唐が領土を拡大 → 朝鮮半島に圧力
- 高句麗・百済・新羅で政変、戦争が相次ぐ
- ヤマト王権内で中央集権を進めようとする動きが起こる
- 大同1年(645年)、中大兄皇子と藤原鎌足(藤原鎌足)が藤原氏をおして政権を握る
- 難波宮を建設 → 天皇を中心とする役所や役人の組織をつくる
- 公地公民 → すべての土地と人々を国有にして天皇が支配する

【天智天皇】

- 中大兄皇子の政治
- 百済の復興のため、朝鮮半島に大軍を送る → 白村江の戦いで唐の水軍に敗れ、敗戦
- 唐・新羅がほぼ半島
- 九州北部に防人(兵士)をおく | 大津府を拠点とし、唐や新羅の朝鮮式山城や水城を築く | 攻撃にそなえる
- 天智天皇 → 中大兄皇子が大津宮(滋賀県)で即位
- 役所・役人の組織を改良
- 初めて全国的な戸籍をつくる → 公民の支配を強化

【律令国家の成立】

- 壬申の乱 → 天智天皇の死後、弟の大海人皇子が挙兵して政権を握る
- 即位して天武天皇となる
- 中央集権国家の建設
- 天武天皇は鳥島に都をおき、法則をいっそう整備 → 死後は皇后の持統天皇が事業を引きつぎ、広大な藤原宮をつくる
- 701年、天智天皇の制定した律令に基づいて政治が行われる
- 唐の律令をまねてつくられる
- 国家(律令国家)の成立

ノートに貼って活用!

ここに学習課題を書きこむ。

★「協働学習」の授業の実現

思考・判断・表現力が効果的に育成できます。

「新しい価値を創造していく力」が身に付くようになります。

板書例(教師用書に掲載)に沿って効率的に授業が展開できます。



先生方の負担軽減!

教科書の流れに沿った「A・Lワークシート」を使って学習課題に取り組んでいきます。

本誌では章末・編末に設定

6 律令国家の成立

大化の改新

(645年) (大化の改新)

- 《中大兄皇子》と《藤原鎌足》(のちの藤原鎌足)は、《藤原氏》を政権をにぎった
- 現在の大阪市に《難波宮》を建設
- 《天皇》を中心とする新しい役所・役人の組織をつくった
- 《公地公民》の方針…すべての土地と人々を《国有》とし、《天皇》がそれらを支配する

天智天皇

【他国との争い】

- 《唐》と《新羅》が連合して百済をほろぼした。
- 《中大兄皇子》は朝鮮半島に大軍を送って百済を助けた → 《白村江》の戦いで敗

【国内での政治】

- 九州北部…《防人》とよばれる兵士。《朝鮮式山城》や《水城》を築いた
- 《大津宮》(今の滋賀県)で即位して《天智天皇》となった
- 全国的な《戸籍》をつくった

◆なぜ九州北部に防人をおいたり、山城や水城を築いたりしたのか。

例) 唐や新羅の攻撃に備えるため。

律令国家の成立

天智天皇の死後 → 《大海人皇子》が挙兵 → 《天武天皇》として即位

壬申の乱 → 《持統天皇》が引きついだ。

唐の律令をまねてつくった

律令国家(律令国家)という

なる必要があったのか。

例) 法律に基づいて政治を行い、中央集権国家の建設をおすすめるため。

【自己評価と振り返り】

課題・目標達成	学習の理解	学びに向かう態度	学習の振り返り
A・B・C	A・B・C	A・B・C	



← サンプル授業動画はこちらから



← 使い方・内容説明はこちらから



# ③ 試験対策も自主学習

# 自主学習をサポート『解答解説書』(生徒用付録)

無料

- ・ 巻末にある「重要用語」で基本的な用語が確実に定着できます。
- ・ 単元のまとめに「確認テスト」「総合問題」では入試問題に挑戦できます。

- ・ 充実の解説で弱点を克服できます。

コンパクトでちょうどいい!

できる

## ▼確認テスト

## ▼総合問題

### 確認テスト 古代国家の展開

第2編 古代までの日本と世界

学習日 月 日 得点率 P.44~56 P.21

1 右の年表を見て、各問に答えなさい。

年	主なできごと
710	奈良にa都が移される
743	朝廷がb法を出して開墾をすすめる
794	c天智が京都に都を移す
802	坂上由利麻呂がd政治地方を平定する
967	藤原氏によるe政治が安定する
1053	f平家院鳳皇堂が完成する

2 右の資料を見て、各問に答えなさい。

(1) 東大寺のAの次仏をつくらせた人物はだれですか。

(2) 次の文の①、②にあてはまる語句を、①は漢字、②はカタカナでそれぞれ書きなさい。

東大寺にある①には約1万点もの聖物が納められ、その中には②や海の道を通って西アジアやインドから中国に運ばれたものも含まれている。

(3) 仏教について、次の①、②にあてはまる僧の名前を、それぞれ書きなさい。

① 奈良時代に、民衆に仏教を広めながら、人々のくらしを助けるために講や地をつくった。

② 平安時代初期に唐にわたって仏教を学び、帰国後は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を創めた。

(4) Bのように漢字からつくられた文字を使い、漢字が書けなかった漢字の音読みをあらわす文字が、それぞれ書きなさい。

(5) A・Bがつくられた時代に発展した文化の名称を、それぞれ書きなさい。

### 総合問題 日本の近代化

第5編

学習日 月 日 得点率 P.158~219 P.34

1 右の年表を見て、各問に答えなさい。

年	主なできごと
1841	a 天保の改革が始まる
1858	b 日本の鎖国が終わる
1868	c 新政府が江戸を東京にする
1874	d らが薩長藩閥政治の自由主義を提出
1889	e 大日本帝国憲法が公布される
1910	f 併合が行われる

2 右の資料を見て、各問に答えなさい。

(1) 図は日清戦争前の国際関係をあらわした風刺画です。①～③があらわしている国を、それぞれ書きなさい。

(2) 日清戦争後に結ばれた条約によって日本の領土となった地域を、次から選んで書きなさい。

(3) 日清戦争後に得た賠償金の一部を使い、北九州に建設された官営工場を何とよみますか。

(4) ④の詩の作者はだれですか。

(5) 作者が④の詩を通じて批判したのは、何という戦争ですか。

(6) ⑤の戦争後に結ばれた条約の名称を書きなさい。

### 重要用語

正解したら☑にチェック☑しておきましょう。

1 人類の始まりと文明

① 今から約700万年前に直立二足歩行を始めた、最初の人類。

② 人類が、狩猟や採集のために石を打ち割ってつくった石器。

③ 氷河時代の約200万年前ごろに出現し、火を使うようになった人類。

④ 約20万年前にアフリカで出現した、現在の人類の直接の祖先にあたる人類。

⑤ 人類が②をつくり、狩猟をしながら移動生活をしてきた時代。

⑥ 穀物の収穫や加工などに使われた、石をみがいてつくった石器。

⑦ 約1万年前に人々が農耕や牧畜を行い、ムラをつつて住むようになった時代。

⑧ 社会が支配する者と支配される者に分かれ、宗教的・政治的・軍事的に統合したまとまり。一つの都市から始まり、やがて複数の都市を支配するようになった。

⑨ 紀元前3500年ごろ、ティグリス川とユーフラテス川の流域で生まれた文明。

⑩ ⑨で発明され、ハンムラビ法典などに用いられた右の写真の文字。

⑪ 紀元前3100年ごろにナイル川流域で生まれた文明。

⑫ ⑩で発明された、1年を365日とする暦。

⑬ モヘンジョ=ダロの遺跡などで知られる、紀元前2600年ごろに生まれた文明。

## 重要用語

## 原寸 単元のポイント

### p26 解答

- ① 蘇我
- ② 聖徳太子
- ③ 推古
- ④ 冠位十二階
- ⑤ 十七条の憲法
- ⑥ 小野妹子
- ⑦ 遣唐使
- ⑧ 飛鳥
- ⑨ 仏教
- ⑩ 渡来人
- ⑪ 朝鮮
- ⑫ ギリシャ

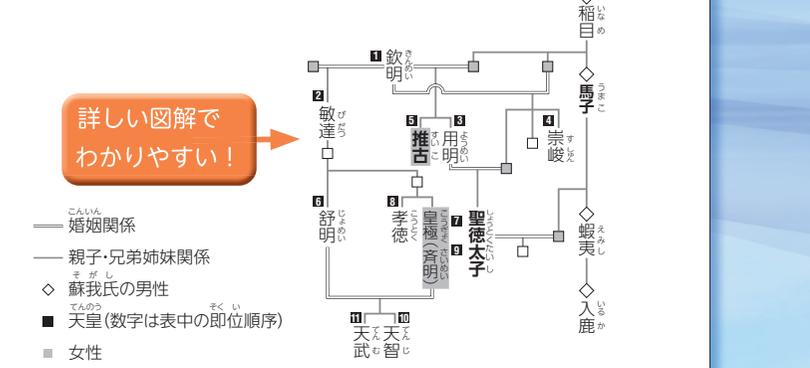
### p26 解説

単元のポイント  
聖徳太子は蘇我氏とともに十七条の憲法や冠位十二階の制度を整えることによって、天皇中心の中央集権国家をめざした。

- ① 蘇我氏は早くから仏教を信じ、日本最初の本格的な寺院である飛鳥寺を建てた。
- ② 厩戸皇子は、死後に聖人として尊敬され、聖徳太子とよばれるようになった。
- ③ 推古天皇は女帝。飛鳥時代から奈良時代にかけて、多くの女帝が誕生した。
- ⑤ 十七条の憲法には、儒教や仏教の思想が取り入れられている。
- ⑫ シルクロードを通じて伝わったヨーロッパの文化が、日本に伝わった。

資料で解説

### (2) 資料研究Q 蘇我氏と天皇家の結びつき



上の系図から、推古天皇や聖徳太子と蘇我馬子とは母方の親戚筋にあたるのが読み取れる。

### 3 記述研究 「記述研究」では、おさえるべき内容、別解等を掲載!

資料は、豪族たちが役人として天皇につかえる心がまえを示した十七条の憲法の一部。「三に曰く、…」の内容から、天皇を中心とする中央集権国家をつくらうとしていたことが読み取れる。

記述問題の解説

解答はすべてふりがな付き!

